

# Aichi-Bangkok Exchange Program 2017

一宮西高等学校 今枝愛梨

## ~マッタヨム・プラナワット高校~

学校に到着するとたくさんの生徒が日本とタイの国旗を振って暖かく迎え入れてくれました。私の緊張していた心がタイの生徒の笑顔と優しさで自然とほぐれました。



タイの授業は日本と全く違い、生徒が皆とても積極的に参加し、意見を交わし合う様子がたくさん見られました。また、紙やひも、ビーズなどを使って細かい作業をし、いろいろなものを作る授業もありました。日本の教育も見習わなければいけないところがたくさんあり、将来教師になりたい私にとってとてもいい刺激になりました。



優しさに溢れたタイの生徒とたくさん交流できて別れが辛くなるほど本当に楽しく、一日があっという間に過ぎました。幸せな時間をありがとうございました。

## ~ホームステイ~

私のホームステイ先は6人家族でとても賑やかでした。私は正直、英語が苦手なので不安でしたが、ホストファミリーとの面会夕食会でいろんな話をし、私の片言な英語を笑いながら理解してくれたので、すぐに打ち解け合うことができました。大切なのは伝えたいという気持ちです。

ホストファミリーは水上マーケットとタイの博物館、ショッピングモール、カオキアオ解放動物園に連れて行ってくれました。

水上マーケットでは風を切って進むボートに乗り、水の上に床の高い家が並んでいました。また、よく日本のテレビで見るように思った通りとても水が汚かったのですが、意外と川魚は白身でおいしくて驚きました。





## ~カオキアオ動物園~

一番楽しかった**動物園**では、日本でいうサファリパークのように車で回りながらいろんな動物にえさをやりました。タイの動物園は動物がおりに入っていないく、とても開放的で動物と触れ合いやすかったです。日本の動物園の動物がかわいそうになりました。なにより驚かされたのは**象**が高さ三メートルくらいのプールで泳ぐショーです。最初は溺れないか心配でしたが、実際は象が気持ちよさそうに水の中でジャンプして泳いでいて、迫力がありました。日本では決して見ることでできない象を見ることができて嬉しかったです。また、**コアラ**に触ることができ、フワフワの暖かくて可愛い姿にとっても癒されました。

家では日本から持ってきた**お土産**をあげました。お守りをとても気に入ってくれてすぐにかばんにつけてくれました。お母さんは日本茶とお餅のお菓子が大好きでした（笑）

**aim**（17歳の娘）は11月に愛知県に来るので機会があれば、次は私が恩返しに日本のことをいっぱい紹介したいです。

短い期間でしたが、日本語、タイ語を教えあい、笑いあって一緒に過ごした時間は私にとっての大切な宝物です。私の人生に大切な思い出がまた一つ増えました。



My host family



## ~エメラルド寺院~

訪れた日はとてもいい天気です。雲一つない空でした。太陽の光が黄金に光る建物をさらに輝かせていて美しかったです。日本の厳かな雰囲気寺院とは違い、豪華で色鮮やかな寺院が見られました。

## ~サイアムスクエア~

都会の街並みで人が栄えていました。マンゴータンゴというお店で食べた**マンゴー**はジューシーで口の中に甘さがいっぱい広がり、とってもおいしかったです。また、タイの物価は日本よりもかなり安く、かつ衣服や雑貨が可愛いので買い物の時間が足りませんでした。ex 購入したキャップ 150Bath=500円



140Bath=465円

## ~サイアムニラミット~

ここではタイのいろんな地区の文化や民謡音楽を表現するショーを見ました。建物や衣装、迫力のあるダンスで表現されるタイの歴史は幻想的で素晴らしかったです。突然雨が降ったり、川が現れたり、観客席に象が歩いたりと演出にたいへん驚かされました。



## ~派遣事業を終えて~

タイの方々の心の優しさやとても親日派であること、また愛知県の企業の数多くが進出しており、タイ人の雇用を生み出すなどお互いの国が密接な関係にあることが分かりました。行く前よりも多くの事を目で見て知り、感じました。一週間という短い間でしたがたくさん勉強になりました。

そして、この経験で学んだことをこれからに生かし、もっと積極的に英語を話していきたいと改めて思いました。この貴重な経験を必ず未来につなげたいです。この派遣事業に参加できたことに感謝しています。本当にありがとうございました。





**愛知県立津島高等学校 山崎 順平**

**今回のタイ訪問事業が僕にとって初めての海外へ行く経験でした。初めての海外は今まで日本国内しか見たことがない僕にとって新しいものばかりでとても楽しかったです！ そんな貴重な経験の中でも特に思い出深かったことを報告したいと思います。**

# 高校訪問



**高校訪問では現地の同年代の高校生たちといっばい交流することができました。 タイの伝統芸能を見せてもらったり、僕たちが日本の文化を紹介するクイズやダンスをしました。また、授業においては双方つたないながら英語を用いて手さぐりにコミュニケーションをとりながら仲良くなることができました。現地の同年代の子たちとじかに接することで、同年代というところでの共通点も文化的な違いもいろいろなことを実感することができました。**



# ホームステイ



ホストファミリーとの顔合わせパーティーでホストファミリーの方々と顔合わせを行いました。僕たちがホームステイさせていただく家はホテルから少し遠かった為、僕たちはほかの人たちより一日だけ多くホームステイさせて頂きました。ホストファミリーの方々にはとても親切にしていただけいろいろなところへ連れて行っていただきいろいろなことを体験させて頂きました。その中でも、タイでしか体験できないことがいっぱいありました。



## タイのすき家

なんとタイにもすき家がありました！メニューはほとんど日本と変わらなかったけど寿司、ラーメンなど少し意外なものもあって面白かったです！！





## 象に乗る

**なんと！象に乗る体験をさせていただきました。  
実際に乗ってみると予想以上に高く少し怖かった  
です。 でも象は可愛かったです！！**







## タイで一番有名なカフェ

夕食後に「**after you**」というカフェに連れて行って  
もらえました！この after you というカフェはタイ  
で一番有名なカフェらしく、ものすごく人が並んでい  
て入るのに整理券が必要なほどでした。でできたにの  
はかき氷とハニートースト！美味しすぎて夕食をし  
っかり食べた後だったのにしっかり完食しました



## 最後に

今回初めてタイに行き思ったことは、タイ人はすごく優しいということです。高校訪問でもホームステイ先でもほかのところでも、ものすごく親切にしてくれました。この交流の中で、現地の人とも仲良くなることができたし、いろいろなことを知ることができました。こんな貴重な体験無駄にすることなくこれからの日々には生かしていきたいと思います。あと、これからもこの交流を通し仲良くなれた人たちともっともっと交流していきたいとおもいます。

本当にありがとうございました！！

こーっぴんくらっぴ！！！！

# Aichi-Bangkok High School Student Exchange Program 2017

常滑高校 カドニユウ  
門丹生 美帆

## Matthayom Puranawas School

到着すると、タイや日本の国旗を持った生徒さんたちが出迎えてくれました。

まず、私たち一人一人に付き、いろいろ教えてくれるバディと会い、自己紹介をしました。彼らは普段タイ語で会話しますが、私たちとコミュニケーションをとるときは全て英語で話してくれます。同級生とは思えないほどとても流暢な英語で、最初は全然聞きとれず困らせてしまうことも多々ありましたが、そんなときはスマホに会話を文章にして打ち込み、文字にして見せてくれる優しいバディでした。



全校集会のようなものでは互いの国歌を歌いました。生徒全員が全力で声を出していて、すごく圧倒されました。

他には、化学の授業に参加して実験を行ったり、焼き菓子を作ったり、花柄等の紙を水で箱と一緒に貼ったり、トンボの形をしたキーホルダーを作ったりしました。会話は交わさなくともとても優しく教えてくれて、言葉がすべてではないのだと思いました。



## ホームステイ

一泊二日でホームステイをしました。

一日目は国立博物館やワットポーという寺院に連れて行ってもらいました。国立博物館には仏教国の象徴、仏像がたくさんあり、それぞれの展示物の下にはタイ語と英語で説明が書かれていました。私には少し難しい表現もあり、全てを理解することはできませんでしたが、日本の仏像とよく似ているという印象を受けました。ワットポーはとても大きな涅槃像がある有名な寺院です。すごく混雑していました。『スリに注意!』と英語で書かれた看板もあり、私の地元では見慣れない看板に少し怖くなりました。ワットポーには涅槃像の他にも写真映えするようなキラキラしている綺麗な塔などもあり、写真を撮らずにはいられません。昼食にはメニューの中から好きなものを選んでいいよと言われ、チキンが入ったチャーハンを注文してもらいました。最初は気づかず食べていましたが、途中からパクチーが入っていることに気が付き、少し残してしまいました。パクチーは香りだけでも苦しくなるような、私が苦手とする食べ物です。

パフェも食べました。チョコレートソースも、上に乗っていたさくらんぼも、日本とは微妙に味が違ってなんだか不思議な感覚でした。

二日目は、水上マーケットに行きました。私が思っていた水上マーケットは船に乗ったまま買い物をしていくイメージでしたが、移動手段に船を使うという感じでした。結構スピードが出て、とても涼しかったです。おみくじを引いたり、パンケーキのようなお菓子を買って食べたりしました。

ホストファミリーは私たちにとっても優しくしてくれました。ホームステイは初めてで最初は不安だらけでしたが、いざしてみるととても楽しくてあっという間でした。ホストマザー、ホストファザー、ホストブラザー、ホストシスター、二日間コップンカー!!



## Siam Niramit

Siam Niramit(サイアム ニラミット)は、総勢 150 名のキャストによる、タイの歴史と各都市の文化などを再現したショーです。人だけでなくゾウや羊もショーに参加し、開演前ではゾウを触ったり、ゾウと写真を撮ったりもできます。ショーはすごく綺麗で鮮やかで煌びやかで、鳥肌が立ち、ショーの最中は目が離せませんでした。またもう一度見たいです。



## ごはん



タイのお米は日本米と違い、タイ米という細長いお米です。炊いた時の食感は、ちょっと硬かったですが、味は、日本米とさほど変わりませんでした。

タイの方は片手にスプーン、片手にフォークを持って食事をします。

ある食事で、『ShabuShi』というお店で夕食を頂きました。しゃぶしゃぶの具材が回転寿司のように回っていて、自分で好きな具材を取り、調理するスタイルのお店です。回転する物は違いますが、どこか日本的な感じがしました。

またある食事では、タイの名物料理のトムヤムクン(トムは煮る、ヤムは混ぜる、クンはエビのことで、世界三大スープの1つ)を食べましたが、予想以上の辛さで、全然食べることができませんでした。スパイスの効いた辛めの料理が多いですが、日本料理に近い、穏やかな味のものもあり、美味しかったです。

タイはフルーツもたくさんあります。特にマンゴスチンというフルーツは初めて食べましたが、とても美味しかったです。因みに、マンゴスチンは「果物の女王」と言われています。マンゴーもタイで良く食べられるフルーツの1つですが、食べ方に特徴があり、マンゴーと一緒に甘いもち米を食べるのが主流と聞いて、とても驚きました。『マンゴータンゴ』というお店でそれを食べましたが、私は別々で食べた方が美味しいと思いました。

## まとめ

私がタイで1週間過ごして1番感じたことは現地の人々の心の温かさです。目が合ったら微笑んでくれたり、タイ語や英語で話しかけてくれたりしました。高校でもホームステイ先でも、たくさんのおもてなしがありました。それらは全て「喜んでもらいたい」という気持ちからきているのでしょうか。私も「ありがとう」の気持ちを常に持ちながら過ごしました。タイで一番発した言葉は「コップンカー(ありがとう)」かもしれません。初めての海外、最初は不安で仕方がなかったけど、過ごしてみるとあっという間の1週間でした。ここに記録したこと以外にもデンソータイランドの工場見学など、普段できない貴重な体験がたくさんできました。現地でサポートしてくれた方々、本当にありがとうございました。



# 愛知県・バンコク都高校生派遣事業 報告書

愛知県立豊田北高等学校 島田留果

## ☆はじめに☆

私は今回、2つの目的を持ってこの派遣事業に参加しました。1つ目は、自分の英語力を上達させることと、日頃の英語学習の成果を発揮することです。私はほぼ毎日授業後に、ALTの先生と日常会話の練習をしてきました。2つ目は、他国の文化を知ることです。事前にタイの建造物や食べ物を調べてみて、タイの伝統や歴史にとっても興味が湧きました。

## ☆【初めて】づくし ☆

私は、飛行機に乗るのも海外に行くのも初めてでした。熱帯に属するタイの7月は雨期で蒸し暑いだろうと想像していましたが、思っていたより暑くはなく、日本と変わらない気候でした。

バンコクはとても車が多く、高い建物も多かったのですが、日本の東京などと同じように発展していると感じました。街の至る所に国王の看板があり、タイ国民による国王への敬愛と信頼の強さをうかがい知ることができました。

## ◆◆1日目◆◆

### 「バンコク都副知事表敬訪問」

バンコク都庁内にあるアモーンピマンルームという部屋に案内していただきました。部屋はとてもきらびやかで、調度品は黄色や金色のものが多く、コップのふちまで金色だったのにびっくりしました。そこで副知事とお会いしました。歓迎の挨拶をいただき、記念品の交換を行いました。



## ◆◆2日目◆◆

### 「マッタヨム・プラナワット高校訪問」

学校に向かうと、生徒のみなさんが旗を振って歓迎してくれました。自己紹介をし、案内してくれるタイのパディと対面しました。そのあと、氷と塩とジュースを使った吸熱反応の実験を行う授業の体験と、折り紙などを使った工作をしたのですが、一緒に授業をすることで、言葉がわからなくても仲良くなれました。

昼食の後にはタイの伝統的な楽器の体験やバンブーダンスの体験をしました。楽しい体験ばかりであっという間に時間は過ぎ、すぐにタイの高校生と別れる時間になってしまいました。最後はパディと写真を撮って別れを惜しみました。



### 「ウェルカムパーティー (ホストファミリーとの面会)」

高校生との交流の後はホストファミリーとの夕食会がありました。英語があまり得意ではない私は、コミュニケーションがうまくとれるかどうか心配でしたが、ホストファミリーの方々はみんなとても優しく、英語もゆっくり話してくれたので、楽しい夕食会になりました。ホームステイ先の子は私と同じ年で、料理の名前や味を聞くと詳しく教えてくれ、親切に対応してもらったので緊張がほぐれました。ホームステイへの不安はいつの間にかなくなっていました。



ホストファミリー。  
みなさん優しかったです



### ◆◆3日目◆◆

#### 「ホームステイ1日目」

ホストファミリーと一緒に水上マーケットに行き、ボートに乗りました。日本には水上マーケットの文化はないので、タイならではの市場を見ることができ、貴重な体験でした。昼食で食べたガパオライスが、日本で食べたものとは全く異なり、パクチーがたくさん入っていました。日本で今パクチーが人気ですが、私は苦手だったようです。

その後、ヒューマンイマージェリー蠟人形博物館に行きました。蠟人形のあまりの精巧さにびっくりしました。お坊さんの蠟人形がとても多く、タイが信心深い仏教国であることを改めて感じました。

博物館から Fashion island というショッピングモールに行ったのですが、帰る時は猛烈な雨と暴風になっていて、はじめての「スコール」を体験しました。

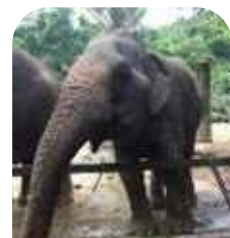


### ◆◆4日目◆◆

#### 「ホームステイ2日目」

この日は動物園に行きました。この動物園は日本の動物園より非常に大きかったです。移動はすべて車で、日本のサファリパークに似ているように感じました。日本ではなかなか見られない象のウォーターショーはおもしろかったです。コアラと触れ合うこともでき、楽しい時間を過ごしました。

1泊2日という短い間でしたが、ホストファミリーと過ごすことで、タイの日常生活も知ることができたので、非常に貴重な経験でした。



◆◆◆5日目◆◆◆

「ワット・プラケオ (エメラルド寺院等見学)」

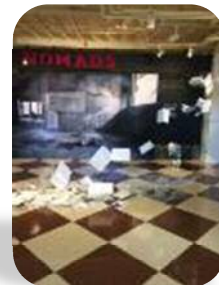
「ワット・プラケオ」はバンコクで最大の人気観光スポットであるそうで、人の量が多く、人に流されるように見学しました。ここは由緒正しき寺院なので服装チェックも厳しく、露出度が高い服などを着ていると入場できないそうです。この寺院もやはり金色が多く、きらびやかすぎて目がちかちかしました。

2日目のマッタヨム・プラナワット高校見学の工作の授業で作った鬼の像を実際に見ることができました。本物は予想以上に大きくて圧倒されました。



「バンコク市立図書館訪問」

2017年の4月に開館したばかりのとてもきれいな図書館で、設備はすべて最新のもののばかりで、本の数も非常に多く、調べたところによると約5万冊の本を所蔵しているそうです。非常に機能的で快適な図書館でしたが、人の数は少なかったです。タイでは日本のように図書館で宿題をするという習慣がないのかもしれませんが。



「サイアムスクエア散策」

サイアムスクエアは、サイアム地区にある繁華街で電車も走っており、都会という言葉がぴったりの街並みでした。ここでは、11月に交換留学で愛知県に来るタイの高校生が案内してくれました。どの人もとても温かく優しく接してくれました。そして、タイが「微笑みの国」と言われる理由がわかりました。コミュニケーションをとることがうれしかったのと同時に、もっと自分の英語のスキルをもっと向上させたいと強く感じました。



「サイアムニラミット訪問」

「タイ・ビレッジ」は私たちのイメージするタイという国を詰め込んだような場所でした。そこで、水上を小さな舟で移動したり、象と触れ合ったり、ムエタイを体験したりしました。その

後、夕食を食べ、タイの文化についてのショーを見ました。このショーでは、いきなり舞台に川ができたり、雨を再現した水が舞台上で降ったり、象が歩いてきたりと、非常に迫力のあるショーでした。



#### ◆◆◆最終日◆◆◆

##### 「ナワミンタラーティラート大学訪問」

この大学には医学部、看護学部、都市開発機構、都市コミュニティ開発カレッジなどがあり、とても大きな大学でした。私が興味のある医療分野施設や、病院を見学することができました。日本の大学との差はあまりないようでした。



##### 「デンソー・タイランド (バンパコン工場)」

工場内はとてもきれいで工場とは思えないほど清潔でした。デンソーについて日本で調べてみると、機械や部品などのものづくりだけではなく、バイオ燃料など地球環境も考えられた分野の研究も行っていることがわかり、日本を代表する会社が他の国でも活躍しているということを知ることができました。見学した工場には植物園が隣接しており、その植物園も見学しました。工場では女性もたくさん働いているそうです。日本の工場では男性が多く働いているイメージですが、ここでは予想以上の人数の女性が働いていて驚きました。



##### 「パラダイスパーク・ショッピングセンター散策」

ここではお土産を買いました。タイのショッピングセンターはどこも大きく、歩き疲れました。MINISOU と書いてメイソウと読むお店があり、日本のダイソーのようなものかなと思いました。商品を見てみると、JAPAN と書いてあるのに、元は中国の会社だと聞いてびっくりしました。



夕食を食べ、空港に向かう時間が近づくとつれて、今までの楽しかった思い出と、みんなとの別れが近づいてくる寂しさがこみ上げてきました。



#### ☆ 最後に ☆

今回の派遣事業を通して、文化や人々の温かさなどタイの良さを知ることができました。ホストファミリーは緊張している私たちに、たくさん話しかけて、食事の面でも気を使ってくださいました。日本から出たことのない私にとってすべての経験が初めてで楽しく、充実した7日間でした。派遣事業のおかげでたくさんの人と出会えたことは、私の中で最高の思い出です。

しかし、いろいろな場面で、もう少し英語が話せたらなと感じることがありました。サイアムニラミットのタイ・ビレッジで会ったオーストラリア人にジョークを言われたのに、私はうまく聞き取ることができませんでした。とても申し訳なかったと感じると同時に、自分のリスニング力の低さを痛感しました。世界の共通言語である英語が話せれば、世界は必ず広がります。学校の英語の授業をしっかり学ぶのはもちろんのことですが、授業以外でも自分から積極的に英語を学びたいと思いました。

私は将来、感染症などの医療系の研究をし、世界中の人々と関わっていきたくと思っています。今回の派遣事業で他国の文化や社会を知り、自分の視野を広げられたことは、とても素晴らしい経験でした。このことを将来の自分に生かすことができるように、ALTの先生との会話練習や日頃の学習に邁進していきたくです。

# 愛知県バンコク都派遣事業報告書

愛知県立西尾高等学校 渡辺美礼

## マッタヨム・フラナワット高校訪問

高校に到着すると、国旗を振ったりしながら盛大に歓迎してくれました。

とてもうれしかったです。

その後、私たちは世界に一つだけの花と PPAP を踊り、日本のクイズをしました。日本でこのようにクイズをしてもあまり盛り上がりがないので不安でしたが、ほとんどの生徒が積極的に参加し、舞台に出てきて答えようとしていて驚き、またとてもうれしかったです。授業体験でも先生の呼びかけに皆全力で返事をしていた先生もやりがいがありそうでした。私の今までの学校生活でそんなに盛り上がった授業はなかったので初めは驚きましたが、とても楽しくてタイでの学校生活が羨ましくなりました。

バディーの子は私より一つ上の学年の子で PLOY さんでした。彼女は以前にこの派遣事業で愛知県に来たことがあり日本の大学に入学したいと言っていました。気さくに話しかけてくれたので会話が弾みました。

また、私の名前はみらいと読むのですが、校長先生が私にマーライ(タイ語で花輪)というあだ名をつけてくれました。その方が言いやすいのか、たびたびマーライとよばれるようになりました。距離が縮んだ感じがしてうれしかったです。



## ホームステイ

私は木村さんとホームステイをしました。ホストファミリーはマッタヨムブラナワ高校の先生でした。二人のホストシスターはどちらもすでに成人していて同年代の人がいなかったなのでその高校の生徒二人と一緒に行動し泊まってくれました。一人はAOMさん、もう一人はROSEさんでした。



ホームステイではいろいろなタイの文化に触れることができました。地元のマーケットや、お寺にも連れて行ってもらいました。お寺ではお祈りをするとき、金箔を仏像に油のようなもので張り付けたり、オレンジ色の布に家族全員の名前を書きました。ホストマザーに名前を書くことで幸せが訪れると教えてもらいました。また、タイの文化を学ぶことができ



る施設にも行きました。タイの伝統的な住居は高温多湿な気候、また洪水に備えるための高床式の家でした。そこでは象に乗ることができました。すごく揺れるし、象の背中に乗せた椅子に座りマジックテープでベルトをしていただけなのでとても怖かったけど楽しかったです。

ホームステイ二日目の朝は、タイの民族衣装を着させてもらいました。イメージとは違い派手なピンク色で驚きました。

ホームステイをしている間英語で会話をしていたのですが、私が聞き取りやすいようにゆっくりと話してくれたのでコミュニケーションをたくさん取ることができ楽しかったです。

## まとめ

今まであまりよく知らなかったタイについてたくさん学ぶことができました。「微笑みの国」といわれるように、タイの方たちは本当に温かく優しい人が多くてタイに住みたくくなりました。とくに家族をととても大切にしていることを会話をしていると感じました。初対面でつたない英語の私に笑顔で話しかけてくれてとてもうれしかったです。穏やかで笑顔を絶やさないことを見習おうと思いました。

また、私はもともと英語が得意だったのでこの派遣事業に参加したのですが、参加した他の高校の人たちは単語がスラスラでてきたり、早い英語も聞き取ったり発音もよくて英語力がかなりレベルが高く刺激を受けました。また実際に英語で会話してみて、すこしでも参考書とは語順を変えて言われると理解するのに時間がかかってしまい、普段勉強している英文法にとらわれすぎていたと気づくことができました。もっと勉強をしなければいけないと思いつつ、実際に会話をして慣れ、柔軟になることも重要だと思いました。

私は将来外国で働きたいと思っているので今回の経験を活かして何事にも積極的に取り組んでいきたいです。



# Aichi-Bangkok High School Students Exchange program 2017

愛知県立刈谷北高等学校 山本羽奈

## Day1 ・バンコク都副知事表敬訪問

バンコク都のワンナウィライプロームラッカノー副都知事に会いました。豪華な部屋に案内され、初めは緊張しましたがバンコク都の方々に優しく迎えて頂いたのでありがたいと思いました。タイに着いて、日本よりも暑い気温やスクールや、街の活気ある匂いからタイを肌で感じました。



## Day2 ・マッタヨム・プラナワット高校訪問

### ・ウエルカムパーティ

高校訪問では、授業に参加しました。理科で花のジュースのフローゼンを作りました。宗教・文化の授業でペン飾りやタイ飾りを作る体験をしました。私のバディの名前は、カヌーです。同年代のタイ人と話すのは初めてでした。タイの高校生はとても積極的に話してくれて英語がとても上手でした。英語でタイの事と日本の事を話しあい、コミュニケーションをとりました。すぐに SNS アドレスの交換をし、今でも英語でメールをしあっています。

ウエルカムパーティでは、私のホストファミリーの方は仕事で来られませんでした。高校生と仲良くなりました。高校生にお勧めのタイ料理のホーイチョー（カニのすり身揚げ）やトートクルアイ（揚げバナナ）などを教えてもらい食べました。タイ料理は味付けが濃く、とても辛いか甘いかという感じでした。私からは、愛知県の名古屋城や名古屋飯などを紹介したらとても興味を持ってくれました。



### Day3 & Day4 ・ホームステイ

私のホストファミリーの名前は、ノンラックさんです。とても丁寧に接して下さいあって有意義な時間を過ごすことができました。会話は英語を主にして、少しタイ語を話しました。1日目は水上マーケットとMBKへショッピングに行き、2日目はスパンブリー県の田舎へ行きました。



- ① 水上マーケット（クローンラートマヨム）では、日本では見ない野菜や果物がありました。またタイのお菓子を買って食べさせてくれました。1番衝撃だったのはココナッツと練乳のかき氷に花から作った麺が入っているものでした。氷にも味があったので、日本のかき氷よりとても甘くて驚きました。MBKでのショッピングでは、タイの服やアクセサリーを見て、日本に劣らないほどかわいいものも多く、そして安かったのでたくさん買いました。また欲しかったタイのビールメーカー（チャン）のTシャツも買えました。
  
- ② スパンブリー県はバンコクから車で2時間くらいです。ここでは、ノンラックさんの友達の家を訪問し、タイの法事に参加させてもらいました。お坊さんが5人もみえました。お参りの後、近くの寺（サンチャオポーラックムアンスパンブリー）とお米畑に行きました。また、昼ごはんはホストファミリーの友達が作ってくれました。川魚を焼いたものやタイの珍しい果物などたくさんありました。初めてのホームステイをホストファミリーのおかげで、タイの生活や習慣などを体験出来て、貴重な時間を過ごせました。

## Day5 ・ワットプラケオ

- ・バンコクシティ図書館訪問
- ・サイアムスクエア散策
- ・サイアムニラミット訪問



バンコクを観光しました。キラキラした装飾が施された寺「ワットプラケオ」と、日本

のようにセキュリティ完備な「バンコクシティ図書館」に行きました。日本と比べても全く劣らないバンコクは進んでいる都市だと感じました。「サイアムスクエア」ではマンゴーデザートのお店（マンゴタンゴ）と、屋台に行きました。屋台ではスマホケースやハンドスピナーなどが日本よりとても安く売られていたのでたくさん買いました。「サイアムニラミット」ではタイの文化や暮らしをショー仕立てで見られました。説明は英語やタイ語でしたが日本人の私にも分かりやすく面白かったです。

## Day6 ・ナワミンタラーティラート大学訪問

- ・デンソータイランド訪問
- ・メガバンナショッピングセンター散策

最終日は、タイがどんどん魅力的になり日本に帰りたくないという気持ちが大きかったです。

「大学訪問」では医療を専門に見学しました。医療器具や医療の授業を初めて見られて興味深かったです。「デンソー」では工場で働いている人や工場の設備について知ることが出来ました。自分たちが普段日本で使っている自動車はタイでも作られているということを実感することが出来ました。「ショッピングセンター散策」では行きたかったお店へ行き、クラスメイトや友達へのお土産を買いました。最後まで充実して楽しかったです。



## 【まとめ】

私は、去年まで3年間父の仕事の関係でタイに住んでいました。今回は住んでいたタイとは違う、タイ人の生活を感じたくてこの派遣事業に参加しました。ホームステイのおかげで自分の知らないタイをたくさん学びました。例えば、タイ人は家でほとんど朝ご飯を食べません。そのかわり会社で食べたり近くの屋台で食べたりします。街の道中で歩きながら食べたり飲んだりしているのも日本とは違って気になりました。朝はお坊さんの托鉢にお供え物をあげます。お寺の前を通るときは必ず合掌してお辞儀をます。風呂にはバスタブはなくシャワーだけで、朝と夜に2回浴びます。私は、日本と違う文化をたくさん知ることができたので、その知識をもっと深めていきたいです。この貴重な体験は、タイの方と愛知県の方がこの派遣事業を計画して下さったおかげです。感謝しています。今後は、自分が将来、役に立つ人材になるように学んでいきたいです。

# Aichi-Bangkok High School Student Exchange Program 2017

豊橋東高校 2年 杉本麻郁子

今回のバンコク都訪問で、今まで知らなかったタイの魅力にたくさん気づくことができました。その中でも特に新鮮で印象的だったホームステイでの出来事を紹介します。

## ○ホストファミリーとの夕食会○

ホストファーザーが常に笑顔で、優しくいろいろな話をしてくださりました。派遣事業の中で一番楽しみであり、一番不安でもあったホームステイでしたが、この夕食会でホストファミリーの暖かさに触れ、不安はほとんどなくなりました。

## ○ホームステイ一日目○

### ・バンコクの景色

ホストファーザーははじめにバンコク都庁に連れて行ってくださり、その屋上からバンコクを見渡すことができました。視界に入るだけでもいくつかの寺院が見えて、日本以上に仏教国であることを改めて感じました。また、バンコクは発展していて高層ビルが多いイメージでしたが都庁周辺には高い建物が少なかったことにも驚きました。



### ・ Golden Mountain (ワットスラケット)

ゴールデンマウンテンと呼ばれる歴史的建造物に登りました。最上部には四体の金の仏像がそれぞれ四方を向いていてその前にひざまずく人々がいました。同じ仏教でも本でのお参りとは雰囲気は全く違って印象的でした。

### ・ Donwai Floating Market

ここでは見たことのない果物がたくさん売っていて驚きました。ホストファーザーが、私たちが日本から来たことを説明すると、市場の方々はいろいろな果物を味見させてくれたり、買ったものにお







まけをくれたりしました。昼食もここでとり、川沿いでタイのローカルな食事ができて楽しかったです。また、ここから2時間ほど船に乗って川の上からタイの景色を楽しみました。ホストファミリーともたくさん話ができよかったです。

#### ・家族と面会

家に着くとホストマザーとその両親が笑顔で迎えてくれました。夕食のころにはホストシスターも帰ってきて一緒に夕食をとりました。タイの家庭料理は、それまでレストランで食べていたタイ料理とも違いました。ここで何度目かのトムヤムクンを食べましたが、私たちのために辛さを調節してくれたり、食べられる具材を教えてください、人生の中で一番おいしいトムヤムクンでした。

その後、日本から持っていったお土産をわたすと、とても喜んでもらえてうれしかったです。特にホストシスターは、私が大好きな羊羹をおいしい、と言ってずっと食べていて、日本人の味覚とタイ人の味覚は似ているのかな、と嬉しく思いました。

また、クーラーのついていないリビング・ダイニングがとても涼しく、湿度と気温が高いバンコクで工夫された家の造りに興味を持ちました。

### ○ホームステイ二日目○

#### ・サイクリング



朝食後すぐにサイクリングに出かけました。家の周辺は様々なコミュニティの寺院や神社、教会が多くある地域で、いろいろな文化を一度に感じることができてとても面白かったです。途中休憩をしたカフェでは、タイ人の奥さんと結婚をしてそこに住んでいるという日本人の方にも会い、とても親切にしてもらいました。そこには、様々な国からタイに渡って来た人々についての展示もあり



勉強になりました。

#### ・買い物

昼食を外でとった後、買い物に行きました。そのスーパーで私が父にお土産でお酒を買おうとしたところ、「今の時間は買えない」とレジの人に言われ本当に驚きました。宗教上の理由でお酒を買える時間帯が決まっているようでした。これはタイでは珍しいことのようにホストファミリーも「そんなスーパーがあるなんて知らなかった」と驚いていました。

・お別れ

最後にホストファミリーにお別れをしました。本当に親切にしてくださって、タイの方の暖かさを感じました。「もっと長く居たかった」と言うと、「また来て」と言ってくれました。ホストファミリーが日本に来たときには私が案内する、という約束もしました。



今回のホームステイを通して、今まで知らなかったタイの文化を知ることができました。その中でも、タイ人の優しさ、暖かさはタイの一番の魅力だと思います。そのことに気づくという素敵な経験ができて、最高の時間となりました。この経験をこれからの自分の考え方や行動に生かしたいです。また、バンコクと愛知、タイと日本の交友関係がこの先も長く続いていくように自分ができることを探したいです。

～その他～

・タイには王室の人の写真が街のいたるところにあったり、エメラルド寺院には黒い服を着てくる人がたくさんいたり、**“王国”**という日本とは違う一面を見ることができました。

・滞在中に多くの方々にお世話になり、皆さん親切にしてくださってほんとうにうれしかった。高校訪問やサイアム散策で仲良くなった子と連絡先を交換したり、案内をしてくれていた **Bee** や **Poo** さんとも写真を撮ったり、たくさんの友達ことができました。

・愛知から一緒に行った子達とも絆が生まれました。



# 愛知県・バンコク都 高校生交流事業

御津高校 藤田将豪

## ～First day～

○バンコク都副知事表敬訪問

初日のバンコク都副知事表敬訪問では、副知事が温かく僕たちを迎えてくださり、緊張がほぐれました。また、日本との街並みとタイの街並み、また食文化の違いなど、初日は驚きばかりでした。



## ～Second day～

○マッタヨム・プラナワット高校訪問

高校訪問では、タイの伝統の遊びや、実際にタイの生徒と一緒に授業を行うことにより、普段の授業の様子やどのような教育をしているのかということを知ることができました。また、授業だけでなくタイのお菓子や小物をタイの生徒の人たちと作ることにより、タイの文化にたくさん触れることができました。



### ~Third and fourth day~

#### ○ホームステイ

ホームステイでは、一緒に生活することにより日本との食文化、生活習慣の違いに触れることができました。また、ホストファミリーの方々と折り紙をやることにより、日本の代表的な文化を伝えることができました。

さらに、ホストファミリーの方々は、僕たちをショッピング、動物園などへ連れていってくださり、とても楽しく、貴重な体験になりました。



### ~Fifth day~

- ワット・プラ・ケオ見学
- バンコク city 図書館訪問
- サイアムスクエア散策
- サイマルニラミット訪問
- パフォーマンス鑑賞

5日目は、いろいろなイベントがあり、特に最後のパフォーマンス鑑賞では、タイの伝統的な踊りを見ることができ、とても貴重な体験になりました。また、ゾウと写真が撮れたり、ガキの使いで有名なタイキックの人たちも見ることができました。



## ~Sixth day~

- ナワミンタラーティラート  
大学訪問
- デンソー・タイランド訪問

デンソー訪問では、僕のお父さんがデンソーで働いていることもあって少し興味があり、日本と全く同じだと思いましたが、従業員の仕切り役が日本人ではなくタイ人であったことにとても驚きました。また、タイにはデンソーだけでなく、トヨタ自動車などのたくさんの日本の企業が進出しているという事が分かりました。



## ～最後に～

僕は今まで一度も海外に行ったことがなく、とても不安でしたがいい仲間、先生方、そしてタイの方々に支えてもらいとてもいい経験になりました。今回の貴重な経験を生かし、これからも日本からもっと海外に視野を広げ、自分の将来に立てられるといいと思いました。



## 「愛知県高校生訪問団バンコク都派遣事業」参加者アンケート

### 1. どうして今回の派遣事業に参加しようと思いましたか？

- 国際交流に興味があるから (10) ※複数可
- タイに興味があるから (5)
- 英語力を向上させるため (11)
- 家族や学校の先生に勧められたから (1)
- その他 (1:海外に行ってみたかったから)

### 2. 今回の訪問先の中で印象に残ったところはどこですか？

以下の a~f の中から三つを挙げ、理由を書いてください。

- a. バンコク都庁 (2) b. デンソー工場 (2) c. マッタヨム・プラナワット高校 (12)
- d. ホームステイ (10) e. 王宮、寺院など (5) f. その他 (5)

#### 【バンコク都庁】

- ・副知事らの前でスピーチをするという貴重な経験をさせていただいたから。
- ・バンコクに住んでいたけど行ったことなかったので興味深かった。

#### 【デンソー工場】

- ・海外に進出している日本の企業をこの目で見る事が出来てよかったと思えたから。
- ・タイにある日本の企業がどのように発達しているか知ることができたから。

#### 【マッタヨム・プラナワット高校】

- ・授業体験やワークショップを通して同世代のタイの方と異文化交流をすることができたから。
- ・同じ年代の子と英語を通じて仲良くなったり、色々な事を教えてもらったり、すごく歓迎してくれて、1番楽しかったから。
- ・同じ年代の人達との会話が楽しかったことと、色々な体験をさせてもらったから。
- ・たくさんの友達ができ、タイの学校の雰囲気を知ることができたから。また、体験活動も楽しかったから。
- ・他校の高校生とふれあい、日本の教育との違いを知ることができたから。
- ・とても親切にさせていただき、伝統的なところから未来への教育の仕方を知ることができたから。
- ・同世代の、英語圏ではない人たちと交流して、自分の英語の出来なさや英語が出来なくても通じること(単語やジェスチャー)を発見出来たから。
- ・同い年くらいのタイの人と色々なことをして過ごせたから。授業の風景とか日本と違って積極的な子が多かった。
- ・友達ができ、楽器の演奏が楽しかったから。
- ・タイ人の高校生はどんな勉強をしていてどんな学校生活をしているのかを知れたから。
- ・大歓迎を受け、友達もたくさんできて、何より授業の内容やパフォーマンスがタイの歴

史や文化を知れるものだったので面白かった。

・実際に授業を受けたことにより、タイの学校ではどのような教育をしているのかということを知ることができたから。

### 【ホームステイ】

・自分にとって初めてのホームステイで不安と緊張しか無かったけれど初めてのことばかりで楽しかったから。

・タイの伝統的な衣装を着せてもらったり、色々な場所に連れて行ってもらって、すごく楽しかったし良い経験が出来たから。

・みんなといろんなところに行けてすごく楽しかったし、たくさんの思い出ができたから。

また、ずっと英語で会話だったので、自分の力を知ることができたから。

・英語で会話しながらお互いの国について知ることができ、とても楽しめたから。

・こちらでも親切にしていただけ、現地の人々の暮らしを知れいろいろな所を見せていただけだから。

・タイのホストファミリーと過ごした時間がとてもたのしかったから。

・優しく歓迎してもらい、また英語でもコミュニケーションがとれたから。

・初めてのホームステイだったけどホストファミリーの方が楽しかったから。とても楽しかった。

・観光旅行では体験できないような地元の生活を知ることができてとても勉強になり、楽しかった。

・ホームステイをすることにより、タイの人たちの生活のしかたや英語を使っただけの生活などいろいろなことを体験することができたから。

### 【王宮・寺院など】

・同じ仏教ではあるけれど、外形や配色が日本の寺院と大きく異なっていたことが非常に印象的だったから。

・すごくきれいでもっと見ていたかったなと思ったり、迫力に圧倒されたから。

・日本と全く違う文化を感じる事が出来たから。

・日本の寺とは違った雰囲気や文化を味わうことができたから。

・ホームステイ中に自転車でまわった地域には、タイや中国、ムスリムの寺院、クリスチャンの教会など、いろいろな種類のものがあり、その周辺にはそれぞれの集落があり、とても興味深かった。特に、教会の近くにあった Baan Kuddichin Museam ではその集落の人たちがタイに渡ってきた頃の様子を知ることができて面白かった。

### 【その他】

・サイアム・ニラミット：タイの昔の生活に触れることができたから。

・サイアム・ニラミット：ショーがとても楽しかった。すごい迫力で、もう一度見たいくなるような気持ちになったから。

・ショッピングモール：現地の雰囲気を実感でき、良い意味で予想を大きく裏切られたから。



- ・タイの伝統的な文化を客観的にではあるけれど、見る事が出来たし、綺麗だったから。
- ・大学：注射の体験ができたことと、日本以外の大学のシステムを知れたから。

### 3. 以下のプログラムの感想を記入してください。

#### (1) マッタヨム・プラナワット高校訪問

・生徒方・先生方からの手厚い歓迎に始まり、たくさんのお土産とワークショップから私たちのためにたくさんの準備をしていただいていたことが伺え、有り難かったです。その分、私たちのパフォーマンスは練習不足で申し訳ありませんでした。バディー制度、授業体験、ワークショップを通してタイの高校生と友情を深めることができました。この友情をこれからも続けていきたいです。

・タイの同年代の子と仲良くなれたり、一緒に授業を受けたりすることで、勉強への意識の高さを感じとれたすごくいいプログラムでした。

・たくさん授業体験や伝統的な踊りを見せて頂いて、とても嬉しかったです。

・最初にみんながすごく歓迎してくれて嬉しかった。出し物ではみんながとても盛り上がってくれたので、とても安心してできた。

・プラナワット高校の生徒さん達の歓迎にとっても驚き、すごく嬉しかったです。タイの生徒はとても優しく接してくださり、日本の生徒よりも授業に対してとても積極的で見習わなければいけないと思いました。英語の発音もみんなが上手でした。大変勉強になりました。

・現地の高校生ととても仲良くなる事ができて、楽しかったです。

・とても楽しかったです。たくさん人の歓迎、たくさんのお土産をもらい、とても幸せな気持ちになりました。

・タイ人は授業に対してみんな真剣で積極的だったので驚いた。いろいろなものを一緒に作ってたのしかった。ペアの子と仲良くできたのでうれしかったと同時に自分の英語のスキルが足りなかったのもっと勉強しようと思った。

・盛大に歓迎されて嬉しかったです。

ペアの子に親切にしてもらい、たくさんの人たちと話すことができました。クイズでは、全員が積極的に参加してくれて盛り上がって本当に嬉しかったです。

・タイの高校生と交流できて楽しかった。

・食事やお菓子もタイのもので、はじめのパフォーマンス・食事の音楽&パフォーマンスもタイの伝統的なもので面白かった。楽器を触らせてもらったのがとても嬉しかった。

授業では、人間と猿と鬼の話やお寺に飾るものの話などが良かった。もっと歴史・宗教・伝統のような授業を聞きたくなった。

・実際に授業を受けたことで、どのような教育がタイの高校で行われているのかということを知ることができ、いつもの自分が受けている授業と違うものを体験することにより、自分の視野を広げることができた。

## (2) ホームステイ

・ホストファザー、ホストマザー共にほとんど英語を話すことができず、最初は簡単なことを伝えるのにも苦勞しました。しかし、時間が経つにつれて慣れることができたので良かったです。ナショナルミュージアムやワット・ポーなどで歴史的な仏像や建造物をたくさん見たり、タイならではのフルーツをたくさん食べたりと、個人の興味に応じてそれぞれ違った体験ができ、内容の濃い2日間でした。

・なかなかホームステイをする経験かないのでいいプログラムだと思った。

・ホストファミリーには、色々な所に連れて行ってもらい、貴重な体験をさせて頂きました。

・最初はすごく不安で緊張していたけど、いざホームステイしてみるとすごく楽しくて、すごく歓迎されて、すごく優しくしてくれたので、ずっとホームステイでも良かったなって思えた。

・水上マーケットに博物館、解放動物園とたくさん場所に連れてってくださりました。会話も楽しく、タイ料理も美味しかったです。像の水の中の泳ぎにはおどろき、コアラに触れて癒されました。また、家族の皆さんと家で過ごした時間もいろんな会話をし、ゆったりと過ごすことが出来ました。日本のお土産もものすごく喜んでくれました。タイの人は日本のことをよく知っていると感じました。

・こちらでもすごく親切にしてもらえ、すごく嬉しかったです。いろいろな所に連れて行ってもらえ、日本食まで食べさせていただき楽しかったです。

・英語力が同じくらいの人とホームステイをしたいなと思いました。

・たくさん場所に連れていってくれて本当に楽しい時間を過ごせた。日本では絶対触れない(そう思われる)コアラに触るといふような貴重な経験が突然訪れるようなところもホームステイの良さだと思った。そして、ホストファミリーがとにかく親切で不安が全て飛んでいった。

・タイの食べ物や文化をたくさん紹介してもらってとても勉強になりました。

常に私たちのことを気にかけてくれ、とても優しい方たちでした。

食べ物も無理しなくていいよと言ってくれたりしたのでとても助かりました。

学校訪問で出会った学生さんも一緒に泊まってくれたのでより一層仲が深まりました。

・いろいろなところへ連れて行ってもらえて嬉しかった。

・タイの家の造りや生活様式を知ることができてとても面白かった。特に食事は、タイの家庭料理やタイでよく食べられている様々な種類の果物などを食べさせてもらって良かった。

また、地元の人たちとの触れ合いができたことも嬉しかった。特に私が行ったところはいろいろな人種・宗教の人が住む地域だったので興味深かった。

フローティングマーケットでも、地元の人たちの生活の様子が知れた。

もっと長く居たかった、と思うくらい充実した時間でした。

・英語を使つての生活が基本で、今まで英語を使つて生活したことはなかったのが最初は

消極的でしたが、慣れてくると積極的にホストファミリーの方々とたくさん話せ、英語力を向上させることができたので良かったと思います。

また、タイの人々の普段の生活を知ることができたので、その面でも良かったと思います。

### (3) その他

・特に印象に残っているのは、サイアム・ニラミットです。リトルワールドのような体験型アトラクションで、五感でタイの古くからの文化を肌で感じることができました。ぜひサイアム・ニラミットでもお土産を見る時間を作っていただけると良いと思います。また、最新技術を駆使してタイの古くからの文化を表現したきらびやかなショーには感動しました。様々な言語、文化の方が同時に同じショーを見ていましたが、ちゃんと伝えたい内容には何ヶ国語もの訳をつけ、基本的には言葉を使わずボディランゲージで伝えていたため、誰もが楽しめ、感動できるショーだった点が素晴らしかったです。

・寺院見学ではたくさんの方がいて、日差しが強いこともあり、あまり長く滞在できなかつたです。もう少し条件が良ければもう少し長く滞在したかったです。

・サイアム・ニラミットでのショーが本当に素晴らしくて、感動しました。

・全体を通して普段できない経験をたくさんすることができて、自分のこれからのステップにできると思う。自分の英語力がまだまだ全然未熟だなと感じることができたので、これからもっと勉強して力をつけていきたいと思った。

・伝統芸能の鑑賞が心に響くほど良かったです。タイの文化も知ることができ、技術の発展にも驚かされました。いろいろな衣装や楽器、動物までが舞台に現れ、様々な表現がとても面白く見応えがありました。

・私の知らなかったことばかりを知れて、とても興味深かったです。

・いろんなショッピングモール：デカイから日本のショッピングモールよりも疲れる。意外に日本の飲食店が入っている事に驚いた。(丸亀製麺はよく見た)MINISOUと書いてメイソウとよむらしい店はJAPANと書いてあったけれど私は日本では見たことがなかった。しかし、すごくものが多い店で気に入ったので日本にあるか調べようと思った。

### 4. 滞在期間中、困ったことや不便に感じたことがあれば、記入してください。

・ホームステイの際、事前にホストファミリーは女性2人の2人家族だと聞いていたのにも関わらず、実際は男性2人女性2人の4人家族でしたので準備していたお土産が女性用のものばかりで困ってしまいました。

・自宅から2リットルのお水を持参していたので、お水が1日一本ずつ配られる事を事前に知りたかったです。

・ホテルにスリッパがなく、不便だったので持って行った方が良かったと思いました。

・やっぱりコミュニケーションをとるには語学力が大切で、それがないとお互いに理解することができないと思うから、そう言う意味ではコミュニケーションで困った。

・ほとんどの女子は奇数組を作るのが苦手なので、やはり女子も男子も偶数の方がいいので

はと思いました。

- ・ホテルにコインランドリーがなかったこと
- ・ホテルのスタッフに英語が通じなかったこと

**5. このような派遣事業を来年以降も実施することを検討していますが、どのようなプログラムがあると良いと思いますか？ ※複数可**

- 博物館や美術館などの訪問（2）
- 伝統芸能の鑑賞・体験（8）
- 県進出企業の訪問（1）
- 高校生との交流（1 2）
- ホームステイ（1 2）
- その他（3：大型ショッピングモールではなく、タイらしいお土産がたくさんあるマーケットの散策／大学訪問や大学での模擬講義／ショッピング）

**6. 事前説明会について改善点があれば自由に記入して下さい。**

・マッタヨム・プラナワット高校訪問でのパフォーマンスの練習不足と、タイ語の勉強不足を解消するために、もう一度事前説明会を開いていただけると助かります。また Quizlet 等のアプリケーションを活用し、タイ語の勉強をしやすくする工夫をしていただけると、より多くのタイ語を覚えてこの事業に参加できたかなと思います。

・タイへ行くにあたっての質問がすぐに思いつけなかったもので、事前にもっと考えておくと良かったなと思いました。

また、出し物については各自で練習ができるものを提案したほうが良いと思いました。

・ホームステイの情報がより詳しくある方が良いと思いました。

・高校での出し物はぶっつけ本番だと少しグダグダするので、難しいかも知れないけどみんな一度練習できるといい。

・1回は少なかったです。高校での出し物の練習など、1日目のホテルに着いてからはほとんど時間がなかったので事前にもっと練習しておきたかったと思いました。

自己紹介は全体で行った後、1対1で各2分くらい、話す時間を設けると皆の仲がより深まると思います。

・タイの高校でやるだしものについて決めるときにもう少し時間があるといいと思った。ほぼ LINE で決めていたので LINE 交換必須。

説明会は1回でもなんとか大丈夫だったけれど、2回あったらより「良い」かもしれない。タイ語練習の時間ももう少しあるといいと思った。

・タイ語を勉強する回があってもいいと思った。

・私は2万円をタイバーツに両替し、1万円を日本円で持って行き、たくさん買い物をしましたが、465バーツと1万円余ったので、もっと少なくてもいいかと思っています。

## 7. 全体について、感想を記入してください。

・本当に中身の濃い1週間でした。この事業だからこそできたことがたくさんあり、本当に貴重な経験をすることができました。この経験を周りにシェアするとともに、将来に役立てたいと思っています。この事業に携わっていただいた全ての方に感謝していますし、今後もより多くの愛知県の高校生にバンコク都を訪れて異文化交流をしてもらいたいです。

・本当に充実した1週間で過ごすことができました。英語や国際関係に興味がある子達と一緒に生活して沢山の刺激を受けました。

言いたいことが言えない、言っていることが理解できない、といった事が多々あり本当に悔しかったです。この派遣事業を通して、もっと英語を頑張ろうと思いました。スケジュールが凄く過密で大変な部分もありましたが、貴重な体験を沢山することができました。また異国の地で1番大事なことは勇気だな、と改めて感じました。

喋りかけるのも勇気、食べたことがない物を食べるのも勇気、質問するのも勇気。勇気と度胸で勝負することも大事だな思いました。1週間ありがとうございました。

・買い物の時間が沢山欲しいなと思いました。

ホームステイが1番コミュニケーションが出来る場だと思うので、ホームステイの期間を長くすると良いと思いました。

今回、この派遣事業で沢山の貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

私のなかでこの経験は一生の宝物です。

・今回このような機会を得ることができて本当に嬉しく思います。普段絶対に見ることや、することができないことを体験することができて、自分の視野がとても広がりこれからは生かすことができると思います。自分の語学力のなさや甘えがあり、直していかないといけないことがたくさん見つけました。ここで得た経験を次に生かすことができるように、しっかりと自分を見つめたいです。

また、いろんな方にお世話になり、本当に楽しくてたくさん学ぶことができたいい派遣活動になりました。感謝したいです。

今回の派遣活動で、今まで知らなかったタイの魅力を知ることができて、タイがとても好きになりました。いつかまた必ずタイに行き、そこでできたたくさんの友達にも会いたいです。

本当にありがとうございました。

・今回の愛知県派遣事業に参加してよかったと心から思っています。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。たいへん勉強になりました。タイの方は同じアジア人でも英語力が高く、発音も綺麗でした。私ももっと普段から積極的に話していこうと改めて感じさせられました。また、行く前よりもタイについて様々なことが知ることができ、またタイという国や人々が好きになりました。一週間という短い時間でしたが、とても楽しかったです。

ぜひ、11月の愛知県へのバンコク高校生を受け入れたいと考えています！

・このタイでの研修を通し、これから僕が生きていく上で成長するための大きな糧になっ

たと思います。

外国に始めて行くという経験であり、日本語が簡単には通じなく、片言のような英語でもコミュニケーションを取らざるを得ない状況下に置かれることで、英語圏でないからこそその英語の重要性を知ることができました。

この研修に行かせていただいたことは僕にとって人生における重要な地位を占める経験になったと思います。

・とても楽しかったです。行く前までは不安で押し潰れそうでしたが、行ってよかったです心から思えました。今回このような機会を頂き、ありがとうございました。

・タイ人はみんな親切で、温かい人ばかりだったので、全然困ることがなかった。英語力が低い私でもいろんな人とコミュニケーションをとることができてうれしかったのしかったです。

タイはもう1回行きたいと思うような素晴らしい国だった。

そして最初は全く知らない高校の子たちとも7日間過ごしているうちに仲良くなれた。このメンバーでタイに行けて本当に幸せだった。

・ほとんど英語で会話したので英語力が向上したと思います。この事業に参加する前は英語が通じるか、積極的に話せられるかどうかとても不安だったけど、つたない英語でもしっかり聞こうとしてくれたおかげでコミュニケーションをとることができ、自分の自信につながったと思います。また違う高校の子と話すことで、自分の学校の中にいるだけでは分からなかったことも知ることができました。皆英語力が高くてとても良い刺激になりました。

・とても楽しくて毎日充実していました。ありがとうございました。

・本当にたくさんの人にお世話になって、バンコクのみなさんによくしていただいて、タイのことが大好きになりました。ホストファミリーや高校生と日本でも会って愛知県内を案内したり、またタイに行ったりして、今回の派遣で生まれた人との繋がりを今後も長く続けていきたいです。

・今回この派遣プロジェクトに参加して最初の飛行機から全て体験したことがないことばかりでとても貴重な経験になりました。

特に、ホームステイでは自分の英語力を知ることができ、積極的に話しかけ、意外と全然話せるということがわかりました。

また、ホームステイにより日本とは違うタイの日常生活を体験することができすごくいい経験になりました。

このことを参考に、また海外に行く時は今回できなかったことなどを試せるといいと思います。